

科目名	病理学 1（総論）							年度	2025
英語科目名	Pathology 1 (The general remarks)							学期	後期
学科・学年	柔道整復科 1 年次	必／選	必	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	岡本純佳	教員の実務経験		有	実務経験の職種		医師（病院勤務医）		
【科目の目的】 病理学を習得して柔道整復師が現場での適切な施術を行う基盤をつくることを目的とする。									
【科目の概要】 疾病の成り立ちを学びます。									
【到達目標】 健康状態から逸脱し、身体的または精神的に機能が障害され、異常となった状態である疾病の原因、経過、本態、他の疾病との鑑別する能力を身につけるために、疾病の分類や経過などを理解することや、場合によっては死へと進む病変である細胞障害（退行性変化、代謝障害）を理解することを到達目標とする。									
【授業の注意点】 キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	病理学に意義について完全に理解している。	病理学に意義について大体理解している	病理学に意義について部分的に理解している。	病理学に意義についての理解がやや不足している。	病理学に意義について理解していない。				
到達目標 B	病変の分類を完全に理解している。	病変の分類を大体理解している	病変の分類を部分的に理解している。	病変の分類について理解がやや不足している。	病変の分類を理解していない。				
到達目標 C	萎縮と変性について完全に理解している。	萎縮と変性について大体理解している	萎縮と変性について部分的に理解している。	萎縮と変性についての理解がやや不足している。	萎縮と変性について理解していない。				
到達目標 D	代謝障害について完全に理解している。	代謝障害について大体理解している	代謝障害について部分的に理解している。	代謝障害についての理解がやや不足している。	代謝障害について理解していない。				
到達目標 E	壊死について完全に理解している。	壊死について大体理解している	壊死について部分的に理解している。	壊死についての理解がやや不足している。	壊死について理解していない。				
【教科書】 教科書（病理学一般社団法人全国柔道整復学校協会 監修一 ）に準拠する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

